

救急と災害

(Emergency, Disaster and Critical Care Medicine)

【責任者/担当者】

〔救急・災害医学 救命救急センター〕 平田 淳一 主任教授

【担当者】

〔救急・災害医学 救命救急センター〕 大家 宗彦 准教授、宮脇 淳志 講師、
小濱 圭祐 講師、白井 邦博 助教、小林 智行 助教、
佐藤 聖子 助教、桑原 正篤 助教、満保 直美 助教、
村上 博基 病院助手、吉永 和正 非常勤講師、
久保山 一敏 非常勤講師

【目的】

- ・救急疾患(内因と外因)について、病態生理学的な理解に立って救命救急処置、救急診断と決定的治療法を理解する。
- ・重症度と緊急度の科学的な判断、予後予測の方法と総合的な評価方法を理解する。
- ・集団災害を通じて、地域医療圏に果たす役割、メディカルコントロールを理解する。
- ・紛争地など医療資源が限られた地域での医療活動について理解する

【科目キーワード】

「ER(Emergency room)」「救急医学(Emergency medicine)」「災害(disaster)」「外傷(trauma)」「集中治療(Critical care)」「ラピッドレスポンスカー(Rapid response car)」「メディカルコントロール(medical control)」

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ 救命救急処置の手順を列挙し、その意義を説明できる。
- ☐ 侵襲の病態生理を理解し、診断と適切な治療法を系統立てることができる。
- ☐ 科学的な重症患者評価法を説明することができる。
- ☐ 基本的な救急診察法、救命救急処置について述べることができる。
- ☐ 重要臓器の救急病態、診断、治療について説明できる。
- ☐ 重症救急疾患における内視鏡や血管造影、外科手術などの侵襲的検査法・治療法を述べることができる。
- ☐ 病院前救護から病院内での決定的治療にまで至る救命・救急の連鎖の重要性を理解し、そのための体制を説明できる。
- ☐ 集団災害、大規模事故における社会と救急医療の関連を理解し、備えと初期対応を述べるることができる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・人文社会科学を含む幅広い教養と国際性を身につけ、海外からの情報を積極的に利用できる語学力を有し、国際保健に貢献できる。
- ・豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域ならびに母校への帰属意識を有している。
- ・患者およびその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、患者の権利と生命の尊厳を守ることができる。
- ・人間の多様性を理解し、周囲の人々への温かい眼差しを持ち、共感できる豊かなコミュニケーション能力を有している。
- ・患者の痛み、苦しみ、悩みと機能障害を含め様々なハンディキャップを理解し、常に患者中心の立場に立つことができる。
- ・患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。
- ・基本的な診察法、医療技術、救命救急法を修得しており、全身を総合的に診療するための実践的能力、ならびに医療安全と危機管理の能力を有している。
- ・人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身につけている。

【概要ならびに履修方法】

救急医学、集中治療医学、外傷医学、災害医学などの総論ならびに、各論を講義形式で行う。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

教科書の熟読と参考書の参照による、理解の掘り下げと知識の広がりを望む。講義プリント類の配付は、必要最小限とする。

約1時間程度の予習を推奨する。そのために、教科書の該当ページを事前提示する。講義時間中にアトランダムに指名し、解答を求めることがある。

【成績の評価方法・基準】

- ・定期試験で評価し、出席状況を参考にする。
- ・定期試験問題は、講義担当者が作成する。なお記述問題を含む。
- ・再試験は1回のみ行い、定期試験と同様の形式とする。

【学生への助言】

特になし

【フィードバック方針】

試験についての解説講義を行う(特に低正答率問題)

【オフィスアワー】

要相談

【受講のルール、注意事項、その他】

特になし

【教科書】

「標準救急医学(第5版)」日本救急医学会 監修(医学書院)2014年

【参考書】

「イラストで学ぶクリティカルケア 基本手技とモニタリング」

WC Shoemaker、他 著 丸川征四郎、小谷穰治 監訳(総合医学社)2004年

「経験から学ぶ大規模災害医療 対応・活動・処置」丸川征四郎 編著(永井書店)2007年

「ICUブック(第4版)」PS Marino 著 稲田英一 監訳

(メディカル・サイエンス・インターナショナル)2015年

「災害医学(改訂2版)」NPO 災害人道医療支援会 編(南山堂)2009年

「JRC 蘇生ガイドライン 2020」日本蘇生協議会 監修(医学書院)2021年

「外傷初期診療ガイドライン JATEC(改訂第6版)」

日本外傷学会、日本救急医学会 監修(へるす出版)2021年

「救急救命士標準テキスト(改訂第10版)」

救急救命士標準テキスト編集委員会 編(へるす出版)2020年

「日本集中治療医学会専門医テキスト(第3版)」日本集中治療医学会 編

(真興交易医書出版部)2019年

【連絡先】

救急災害医学講座医局